

舞踊学会第20回定例研究会報告

○開催日：2015年6月7日（日）9：30～17：00

○会場：日本大学芸術学部江古田校舎

《プログラム》

■一般研究発表 会場：東棟2階 E-207教室

時間	発表者	タイトル	座長
9：30-10：15	近藤 洋子 (民俗舞踊研究所「舞スタジオ」)	“いのち”を育む民俗舞踊の仕組み	遠藤 保子 (立命館大学)
10：15-10：45	小林 敦子 (明治大学大学院情報コミュニケーション研究科博士後期課程)	「阿波踊り」における「女踊り」および「女の男踊り」の確立とその要因	猪崎 弥生 (お茶の水女子大学)
10：45-11：15	石坂 安希 (早稲田大学大学院文学研究科演劇映像学コース日本演劇学専攻博士後期課程)	白井鐵造によるレビュー『花詩集』の上演意義－東京宝塚劇場開場（1934）をめぐって－	古井戸 秀夫 (東京大学)
11：15-11：45	吉田 明子 (日本大学)	教員養成課程におけるダンスの学習内容について～アレンジの工夫 4象限の左回りループ～	八木 ありさ (日本女子体育大学)
11：45-12：15	安達 詩穂 (日本女子体育大学大学院スポーツ科学研究科修士課程2年)	コンテンポラリー・ダンスの社会的役割に関する一考察－ワークショップ参加児童の内的態度の変化から－	村田 芳子 (筑波大学)

<12：15－13：15 昼休み>（理事会 西棟2階第3会議室）

13：15-14：00	鈴木 晶（法政大学） 海野 敏（東洋大学）	パリ・オペラ座バレエのレパトリー、とくに上演頻度上位の作品の経年変化～全上演記録の分析をもとに	森 立子 (日本女子体育大学)
-------------	--------------------------	---	--------------------

※それぞれ30分発表の場合は15分の質疑、20分発表の場合は10分の質疑となります。

■若手研究者によるシンポジウム「アジアにおける伝統の再創造と再構築」会場：東棟1階 E-102教室

司会：川島 京子（早稲田大学）

第一部

14：05-14：25	竹村 嘉晃 (人間文化研究機構地域研究推進センター)	「伝統」を支える多元性 －シンガポールにおけるインド舞踊の発展と移民・国家・多文化主義
14：25-14：45	木村 理子 (東京外国語大学)	民主化後の「伝統文化」の継承 －モンゴルのチャム・ダンスを事例として－
14：45-15：05	波照間 永子 (明治大学)	「男芸」(女形)から「女芸」へ －女性舞踊家のオーラル・ヒストリー－
15：05-15：35	討論	

第二部

15：45-16：05	高橋 京子 (フェリス学院大学)	インドの「伝統的な」マーシャルアーツ、カラリパヤットをめぐる現状
16：05-16：25	岩澤 孝子 (北海道教育大学)	ピチェ・克蘭チェンとタイのコンテンポラリーダンス
16：25-16：55	討論	

16：55-17：00 ご挨拶 柴 真理子（舞踊学会会長）